

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公表番号】特表2005-530014(P2005-530014A)

【公表日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-039

【出願番号】特願2004-514696(P2004-514696)

【国際特許分類】

C 08 F 8/00 (2006.01)

C 08 F 4/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 8/00

C 08 F 4/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

グラフト化された熱可塑性又はエラストマー性ポリマー又はコポリマーの調製方法であつて、該方法は、第1段階：

A) a 1) ニトロキシルエーテルR'R" N-O-X(式中、Xは、O-X結合の開裂が起こり、及びラジカルX·が形成されて重合を開始し得るように選択される。)の存在下；又は

a 2) ニトロキシルラジカルR'R" N-O·及び重合を開始し得る遊離ラジカル開始剤の存在下；

における、エチレン性不飽和モノマーの制御された遊離ラジカル重合によるニトロキシル末端化オリゴマー又はポリマーの調製；及び

第2段階：

B) 120ないし300の温度にて、A)段階のニトロキシル末端化オリゴマー又はポリマーを、熱可塑性又はエラストマー性ポリマー又はコポリマーと共に加熱し、混合し、そして反応させること

からなる方法。

【請求項2】

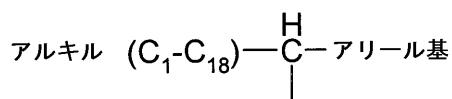
前記Xは、

【化1】

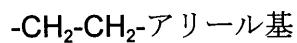
-CH₂-アリール基

、

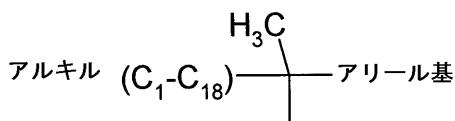
【化2】



【化3】

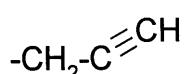


【化4】



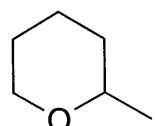
(炭素原子数5又は6のシクロアルキル) $_2CCN$ 、(炭素原子数1ないし12のアルキル) $_2CCN$ 、 $-CH_2CH=CH_2$ 、(炭素原子数1ないし12の)アルキル- $CR_{20}-C(O)-$ (炭素原子数1ないし12の)アルキル基、(炭素原子数1ないし12の)アルキル- $CR_{20}-C(O)-$ (炭素原子数6ないし10の)アリール基、(炭素原子数1ないし12の)アルキル- $CR_{20}-C(O)-$ (炭素原子数1ないし12の)アルコキシ基、(炭素原子数1ないし12の)アルキル- $CR_{20}-C(O)-$ フェノキシ基、(炭素原子数1ないし12の)アルキル- $CR_{20}-C(O)-N-$ ジ(炭素原子数1ないし12の)アルキル基、(炭素原子数1ないし12の)アルキル- $CR_{20}-CO-NH$ (炭素原子数1ないし12の)アルキル基、(炭素原子数1ないし12の)アルキル- $CR_{20}-CO-NH_2$ 、 $-CH_2CH=CH-CH_3$ 、 $-CH_2-C(CH_3)=CH_2$ 、 $-CH_2CH=CH-$ フェニル基、

【化5】

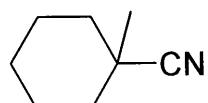


3-シクロヘキセニル基、3-シクロペンテニル基、

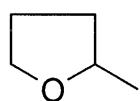
【化6】



【化7】

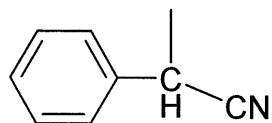


【化8】



又は

【化9】



(式中、

 R_{20} は水素原子又は炭素原子数1ないし12のアルキル基を表し；アルキル基は未置換の又は1個又はそれ以上の-OH、-COOH又は-C(O)R₂₀基により置換されており；及び

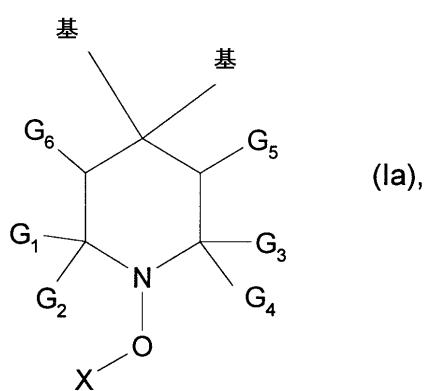
アリール基は、未置換の又は炭素原子数1ないし12のアルキル基、ハロゲン原子、炭素原子数1ないし12のアルコキシ基、炭素原子数1ないし12のアルキルカルボニル基、グリシジルオキシ基、OH、-COOH又は-COO(炭素原子数1ないし12の)アルキル基により置換されたフェニル基又はナフチル基を表す。)

からなる群より選択される請求項1記載の方法。

【請求項3】

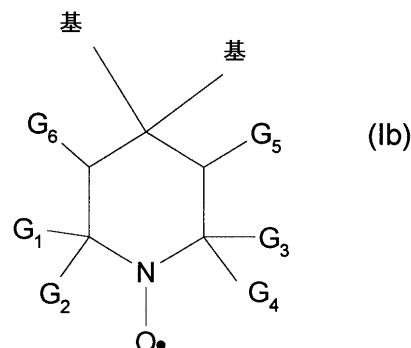
前記ニトロキシリルエーテル又はニトロキシリラジカルは、式(Ia)又は(Ib)

【化10】



(Ia),

【化11】



(式中、

G_1 、 G_2 、 G_3 、 G_4 は独立して炭素原子数1ないし6のアルキル基を表すか、又は G_1 と G_2 又は G_3 と G_4 、又は G_1 と G_2 と G_3 と G_4 が一緒に炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基を形成し；

G_5 、 G_6 は独立してH、炭素原子数1ないし18のアルキル基、フェニル基、ナフチル基又は基COO炭素原子数1ないし18のアルキル基を表す。)で表される構造要素を含む請求項1記載の方法。

【請求項4】

請求項1記載の方法にしたがって得られたグラフト化された熱可塑性又はエラストマー性ポリマー又はコポリマー。